

With

J A 愛知厚生連広報誌

TAKE
FREE

春

2026.Spring

【No.509】



特集2

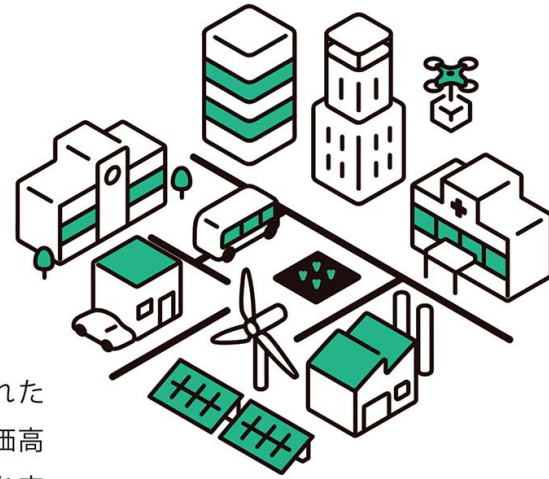
豊田厚生
病院

特集1

令和8年度事業計画書ダイジェスト

地域とともに、 地域医療を守り抜く。

私たちは、地域医療を守る公的医療機関として、皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指しています。少子高齢化や物価高騰といった厳しい環境の中でも、「地域にふさわしい医療・介護」を安定的に提供し続けるために組織一丸となって取り組んでまいります。



01. 医療・介護を取り巻く状況

現在、病院経営は物価高騰や光熱費の上昇、マンパワー不足など、かつてない厳しい波にさらされています。しかし、令和8年度診療報酬・介護報酬改定は、医療・介護従事者の賃上げや物価高騰への対応に重点が置かれたことを受け、これまで以上に地域の皆さまを支える運営体制を築いてまいります。



02. 各事業の取り組み

① 医療事業

大規模病院は専門性の高い高度な治療を担い、中規模病院は治し支える医療(サブアキュート・ポストアキュート機能)を強化して、地域に必要な医療を提供します。他の医療機関や介護施設等との連携を強化し、高度な医療から在宅医療まで切れ目のない医療提供体制を整備し、「**地域から選ばれる病院**」を目指します。

- サブアキュート機能: 急性期治療後の継続治療・リハビリ
- ポストアキュート機能: 在宅や施設で急性増悪した患者を受け入れ、円滑な在宅復帰を支援



PICK UP

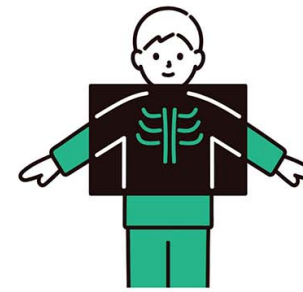
✓ 地域における役割に応じた 外来診療体制の整備

- 大規模病院は、紹介・救急を中心とした専門性の高い外来
- 中規模病院は、在宅医療や高齢者の救急搬送受け入れ等を強化

✓ 新たな地域医療構想を ふまえた地域連携の強化

- 高齢者人口がピークを迎える2040年に向けた新たな地域医療構想をふまえ、在宅医療・介護を含む地域連携を強化

② 保健事業



健康診断・人間ドックによる病気の早期発見だけでなく、健康づくりを支援します。SNS発信や世代に合わせた健康教室を充実させ、皆さまが生き生きと暮らせる「ウェルビーイング」の実現を目指します。

③ 高齢者福祉事業



人材不足の中でもICTの活用や外国人介護人材の受け入れ等により、質の高い介護サービスを提供します。医療と介護が密に連携し、いざという時にも住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

④ 看護師養成事業



デジタル教材を活用し、高度化する医療に対応できる確かな技術と豊かな心を持つ看護師を育成します。看護ニーズの多様化に対応し、専門性を発揮できるよう教育活動の充実を図ります。

03. 経営戦略

① 職員が輝ける職場づくり



業務改善や労務管理の強化等により働き方改革を推進し、職員が誇りを持って地域医療に貢献できるよう、人材育成の充実やキャリア形成の支援に取り組みます。

② DXの推進



電子処方せんや電子カルテ共有サービスなど国が進める医療DXへの準備を進め、質の高い医療・ケアの提供や業務効率化に取り組みます。

臨時総会について

令和8年3月27日に開催された臨時総会において全議案原案通り承認可決されました。

- 第1号議案: 定款の一部変更について
- 第2号議案: 第79年度(令和8年度)事業計画の設定について
- 第3号議案: 令和8年度における役員の報酬額の決定について
- 附帯決議案: この総会において決議した事項のうち、権利義務に関係しない軽微な事項の修正及び違算、誤字の訂正並びに法令その他行政庁の指示等により補正変更を必要とする場合には、その主旨に反しない範囲内においてその変更を代表理事理事長に一任する。

お産の選択肢を
広げる

特集2

5D病棟

豊田厚生病院で 無痛分娩 してみませんか？



新しい命を授かる喜びの一方で、陣痛への不安を感じる方は少なくありません。その不安を解消し、自分らしくお産を迎える選択肢の一つに「無痛分娩」があります。豊田厚生病院では、高度急性期病院として培った麻酔技術を活かした無痛分娩を提供しています。

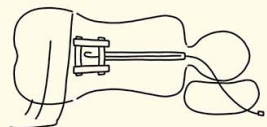


痛みの緩和
以外は、普通分娩と
同様に進んで
いきます。

無痛分娩とは？

無痛分娩は、「硬膜外麻酔」を用いてお産の痛みを和らげる分娩方法です。麻酔を使用しますが、痛みを完全にゼロにするのではなく、陣痛の感覚を残しながら痛みを軽減します。

硬膜外麻酔法



背中から麻酔を投与する1mm未満の細く柔らかいチューブ(カテーテル)を入れます。



麻酔の広がり具合やお母さんの様子を確認しながら、投与量や濃度を細かく調整しています。



痛みをコントロールしながらお産を進め、赤ちゃんの誕生を迎えます。

無痛分娩メリット・デメリット

メリット

体力の温存

産後の回復が早く、赤ちゃんのお世話に取り組みやすくなります。

精神的負担の軽減

痛みへの恐怖による影響が少なくなり、リラックスしてお産を迎えられます。

デメリット

お産が長引く

一般的に分娩がゆっくり進むため、分娩時間が長くなる傾向があります。

合併症

麻酔による副作用や合併症が起こる場合があります。

無痛分娩はどのくらい行われているの？

無痛分娩はアメリカやフランスでは7～8割が選択するほど主流となっていますが、日本では全体の1割程度に留まっています。

豊田厚生病院の安心ポイント

01 麻酔科医師による
専門的な麻酔管理



麻酔に関する専門的知識・技術を持ち、日常的に硬膜外鎮痛法(神経ブロック)を行っている「ペインクリニック外科」の麻酔科医が麻酔管理を担当します。

02 無痛分娩チームによる
定期回診



分娩中は麻酔科医、産婦人科医、助産師が「無痛分娩チーム」として定期的に回診を行います。お母さんの全身状態や痛みの強さを細かく確認し、お産を一番近くで支えます。

03 緊急時に備えた
シミュレーション訓練



万が一の急変にも迅速に対応できるよう、年に1度のシミュレーション訓練を実施しています。常に高い意識と技術を共有し、安全な出産環境を整えています。

スタッフに聞く！

お産を支える無痛分娩チーム

Q & A

Q チームで活動するうえで心がけていることは何ですか？

A 麻酔科医、産婦人科医、助産師で力を合わせて安心安全な無痛分娩を提供することを一番に考えています。分娩の状況を常に3者間で共有するようにしています。

産婦人科医師
新城 加奈子さん

Q 無痛分娩で特に大切にしていることは何ですか？

A 痛みの軽減だけではなく、安心して出産・育児に向き合えるよう心と体の変化に寄り添うケアを大切にしています。

助産師
池田 深由季さん

Q 今後の目標を教えてください。

A 出産は、ご本人とご家族にとっての大きなライフイベントの一つですが、強い痛みが伴うことが一般的です。当院で無痛分娩を選択していただいた妊婦さんが心身ともに良好な状態で退院し、前向きに育児に取り組んでいただけるように、出産の先を見すえた周産期管理を目指していきたいです。

麻酔科
ペインクリニック外科医師
小島 康裕さん

豊田厚生病院の無痛分娩に関心のある方は、豊田厚生病院こちらのWebサイトをぜひご覧ください。



無痛分娩以外の
お産情報もあります！

TOPICS
1~3月

Hot Topics

JA 愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

1/7 豊田厚生病院・足助病院

JAあいち豊田から「春の七草」をご寄贈いただきました。

1月5日、JAあいち豊田から豊田市松平地区の特産品である「松平の七草」を豊田厚生病院と足助病院へ計200パックご寄贈いただきました。この取り組みは、2023年にはじまり、今年で4回目を迎えます。寄贈いただいた「松平の七草」は、1月7日の行事食として七草がゆに使用しました。七草がゆは、無病息災を願って古くから食べられてきた日本の伝統食であり、一年の健康を祈る意味が込められています。当日は、入院患者さんの幸せと健康回復を願いながら提供しました。



1/24 JA愛知厚生連

第37回厚生連卓球大会を開催しました。



1月24日、JA愛知厚生連は「第37回厚生連卓球大会」を開催しました。職員の健康増進や親睦を図ることを目的に毎年開催し、今年は総勢102名が参加しました。大会運営には、名古屋市立大学医学部卓球部のみなさんにご協力いただき、事業所対抗戦や混合ダブルスなどで心地よい汗を流しました。事業所対抗戦では1位海南病院、2位足助病院、3位稲沢厚生病院という結果になりました。普段は別々の事業所で働く職員同士が、試合や応援を通じて交流を深めました。

2/3 江南厚生病院

アグリスクールから野菜の売上金をご寄贈いただきました。

2月3日、JA西春日井が開講するアグリスクールから「採れたて朝市」の売上金をご寄贈いただきました。江南厚生病院へのご支援は、2021年からはじまり、今年で6回目となります。第9期生代表の渡邊敏之さんから、「寄付金を病院の活動にぜひ役立ててください」と目録をいただきました。江南厚生病院の田實事務部長は「皆さまからの温かい支援は、職員にとって大きな励みになります。感染症対策などに活用させていただきます」と述べ、感謝状をお渡ししました。



JA愛知厚生連のニュースは随時配信中

Webサイトは
こちら



Instagramは
こちら



2/5 豊田厚生病院

新型インフルエンザ等患者移送訓練を行いました。

2月5日、豊田厚生病院は豊田市消防本部および豊田市保健所と合同で、新型インフルエンザ等患者移送訓練を行いました。豊田厚生病院は、二類感染症や新型インフルエンザ等感染症に対応する「第2種感染症指定医療機関」に指定されています。訓練では、新型インフルエンザ発症が疑われる患者さんの受入調整から救急車による搬送、感染症病棟での検査・入院までの手順を、実践を通して確認しました。模擬患者に接する職員は防護服を着用し、本番さながらの緊張感の中で臨みました。



3/7 足助病院

足助病院ファンミーティングを開催しました。



3月7日、足助病院にて「足助病院ファンミーティング」を開催しました。患者さんやご家族、地域医療を支える皆さんに足助病院を知っていただくため、リハビリ・健診体験やACPワークショップ、病院食の試食会を実施しました。参加者からは「入院やリハビリの様子が身近に感じられた」と大変喜ばれました。また、豊田市観光誘客推進課のご協力のもと、足助病院がロケ地となった映画『光る校庭』の上映会も開催し、医療現場とは異なる新しい一面をお届けする機会となりました。

看護学校卒業式を行いました。

更生看護専門学校、愛北看護専門学校、加茂看護専門学校の3年生計113名が卒業式を迎えました。実習や学校行事を通じ、仲間と支え合いながら研鑽を積んだ充実の3年間でした。卒業生は2月15日の第115回看護師国家試験を経て、4月より本会の各病院にて看護師としての歩みを始めています。地域医療を担う一員として、今後の大きな成長と活躍を心より期待しています。

3/3 更生看護専門学校



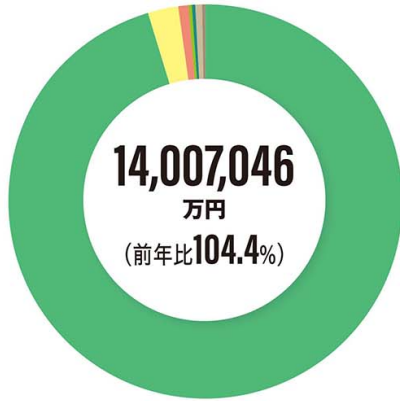
3/6 愛北看護専門学校



3/4 加茂看護専門学校



事業実績



事業実績(2月末)

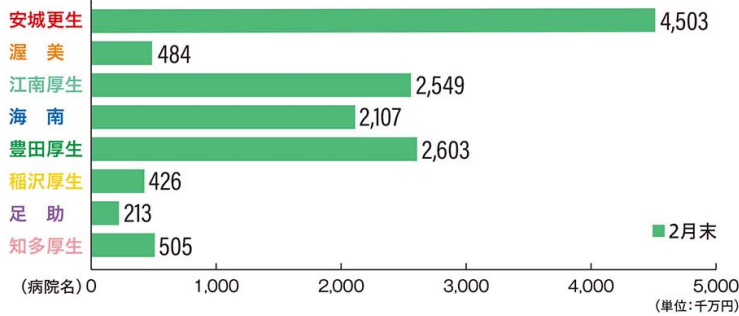
- 医業収益(除保健予防活動収益)
13,377,986(前年比104.5%)
- 保健予防活動収益
350,873(前年比99.3%)
- 老健施設運営収益
119,726(前年比104.0%)
- 介護医療院運営収益
21,133(前年比100.2%)
- 訪問看護収益
57,768(前年比103.1%)
- 老人福祉事業収益
62,967(前年比104.8%)

(単位:万円)

病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数
		通計
安城更生(771)	外来	400,220
	入院	243,737
渥美(302)	外来	124,578
	入院	78,159
江南厚生(630)	外来	307,727
	入院	187,775
海南(540)	外来	269,318
	入院	166,436
豊田厚生(606)	外来	287,248
	入院	181,785
稲沢厚生(225)	外来	125,796
	入院	65,045
足助(148)	外来	54,039
	入院	35,358
知多厚生(199)	外来	122,043
	入院	61,918
JAあいち健診センター	外来	179
合計(3,421)	外来	1,691,148
	入院	1,020,213

病院別診療収入



JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramはこちら

1 JA愛知厚生連本部	2 安城更生病院	3 渥美病院
4 江南厚生病院	5 海南病院	6 豊田厚生病院
7 稲沢厚生病院	8 足助病院	9 知多厚生病院
10 更生看護専門学校	11 愛北看護専門学校	12 加茂看護専門学校



春

JA愛知厚生連広報誌「With」 No.509 発行日/2026年4月1日 発行/愛知県厚生農業協同組合連合会

編集/本部 企画管理局 経営企画部 TEL 0561-62-3162 本誌に掲載されている内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

Webサイト

